

研究課題名	小児期発症シェーグレン症候群の多施設による実態調査
研究責任者名	広島大学大学院研究科小児科学 講師 岡田 賢
研究期間	2019年6月20日(倫理委員会承認後) ~ 2021年3月31日
対象者	2005年1月1日～2018年12月31日に当院小児科で診断した16歳未満発症のシェーグレン症候群の患者さん。性別および調査参加時点での年齢は問わないものとします。
意義・目的	本研究の目的は、小児期発症(16歳未満)のシェーグレン症候群の患者さんの臨床的特徴及び現在行われている検査・治療を明らかにすることです。これまで詳細が不明であった本邦における小児期発症シェーグレン症候群の実態の検証を行う事で今後の診断・診療の改善を目的とします。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、病歴、治療歴、検査データ(血液検査、画像検査)、などです。(個人を特定可能な情報は解析に用いません) JCHO 札幌北辰病院(研究責任者 木澤敏毅)に情報を集め解析します。
共同研究機関	【主任研究者】 JCHO 札幌北辰病院小児科 木澤敏毅 【研究協力者】 大阪医科大学大学院医学研究科泌尿生殖・発達医学講座小児科 岡本奈美、謝花幸祐 宮城県立こども病院総合診療科/リウマチ科 梅林宏明 鹿児島市立病院小児科 久保田知洋 金沢大学医薬保健研究域医学系小児学 清水正樹、水田麻雄 横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 原良紀、西村謙一 兵庫県立こども病院リウマチ科 中岸保夫 岡山大学病院小児科 八代将登 広島大学大学院医歯薬保健学研究科小児科学 安村純子 山口大学大学院医学系研究科小児科学分野 脇口宏之 長崎大学病院小児科 橋本邦夫
試料・情報の管理責任者	JCHO 札幌北辰病院小児科 木澤敏毅
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5473

広島大学病院小児科 職名 クリニカルスタッフ 安村 純子

研究機関：広島大学